

とんぼりニュース

道頓堀商店会報
http://www.dotonbori.or.jp

道頓堀商店会事務局
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くいだおれビルB1
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764
発行人：今井 徹

2017年
3月号

Vol.137

2017年 2月24日
発行

3月の興行ご案内

国立文楽劇場

第3回勘緑文楽劇場公演 「エディット・ピアフ物語」

2ページで登場いただいた吉川裕之さんのプロデュース。
波乱の人生をひたむきに生きたシャンソン歌手エディット・ピアフ。「愛の賛歌」「パリの空の下」「ミロール」「回転木馬」「私の神様」「アコーディオン弾き」「バラ色の人生」……彼女の人生を彩った名曲とともに勘緑人形×講談×シャンソン×フレンチジャズが奇跡のコラボレーションをくり広げます。



3月5日(日) 16時30分
出演：人形 勘緑、木偶舎
〈講談〉 玉田玉秀斎(旭堂南陽改め)
〈演奏〉 川瀬眞司(ギター) Zana(ボーカル)
山本佳史(ギター) 中村尚美(ソノトラバス)
かとうかなこ(クロマチックアコーディオン)
高橋誠(ヴァイオリン)
料金：A席4000円 B席3000円(当日1500円)
お問合せ：木偶舎 06-6581-2039

はり重寄席

道頓堀はり重寄席第九回公演

テレビでも大活躍の桂吉弥さんがお忙しい中、登場。前回素晴らしい落語を聞かせていただいた桂吉の丞さんは二回目の出演。初登場の桂弥うござんもお楽しみに！

3月5日(日) 12時開演(11時30分開場)

場所：道頓堀はり重三階広間
出演：桂吉弥 桂吉の丞 桂弥うご
料金：5000円(御弁当、赤だし付)
お問合せ：はり重精肉店 06-6211-2980

法善寺寄席

3月21日(火)

第一部「彩り演芸席 弥生の席」 15時開演

出演：笑福亭喜光 藤本健太郎 とんぼ まさみ 桂咲之輔
料金：前売2000円 当日2500円

第二部「咲之輔とくさの法善寺」19時開演

出演：桂咲之輔 料金：1500円
お問合せ：関西演芸協会 06-6622-7848 (留守電にお入れください)

道頓堀ZAZA

3月3日(金) 19時

3月4日(土) 14時 18時

3月5日(日) 14時

咲くやこの花高校OB 劇団演りだおれ

「ヤマノオロチ外伝」

作：亀尾佳宏 演出：遠藤淳

出演：神道拓也 箱崎涼 松尾諒 田中翼ほか
料金：2000円 学生1500円 中高生1000円(当日500円)

お問合せ：yariadaore0223@gmail.com

道頓堀ZAZA

3月14日(火) 20時

3月15日(水) 14時 18時

早稲田大学 くらやみダンス「空耳の恋人」



関西二の大学・専門学校を対象にした道頓堀学生演劇祭は今年で10周年。全国で一番長く開催している学生演劇祭です。

同時に開催している東京のシアターグリーン学生芸術祭V.O.10受賞の作品が大阪を皮切りに3都市をツアー公演。

ありふれたモチーフを、飛躍した世界観と虚構の身体によって大袈裟に表現する。キーワードは「生活と冒険」どうしてもわかりあえないわたしとあなたが、それでも繋がろうとする衝動を求めて。演出：岡本セキ

出演：神山慎太郎 吉田裕太 金子美咲 堀紗織ほか
料金：前売2000円 学生1500円(当日2000円) 高校生以下1000円

お問合せ：kurayamidance@gmail.com

3月10日(金) 18時

3月11日(土) 13時 18時

3月12日(日) 13時

大阪芸術大学 劇団日曜座「マイイグマン」

作・演出：辻岡しんへい

出演：竹田祐介 小玉悠莉子 千葉しゅんた 渡辺昌也
谷村拓也 村島正章 平直樹 福島直季 森本紗矢加
料金：1500円(当日500円)

お問合せ：patisiergorilla@gmail.com

道頓堀ZAZA

3月21日(火) 13時 16時30分

(公演ごとに部歌内容が変わります)

道頓堀 SUPER 歌謡劇場

心に響く!! 昭和の流行歌

出演：中村泰士 井上実香 エンジュ T ASUKU 立花淳

林よしこ(50首順)

料金：2500円

お問合せ：道頓堀SUPER歌謡劇場
実行委員会 06-6588-6590

3月27日(月) 12時15分
道頓堀 歌謡95ステージ

出演：林健一 岸本くに子
中峰美由 奈美京子
何ノ田研一 弥栄真里子
みむらじゅん(50首順)

料金：前売2000円 当日2500円

お問合せ：道頓堀ZAZA
06-6211-3005

2017年 3月の行事予定

- 8(水) 関西留学生国際交流支援連絡会 幹事会
- 14(水) 河原センタービル3階 四商店会合同パトロール(予定)
- 17(金) 中央商連常任理事会
- 14(水) 大阪市立中央会館
- 21(火) とんぼりパークウォーク賑わい創出連絡会
- 10(水) スポタカ
- 22(水) 3月度定例役員会
- 14(水) 事務局
- 24(金) 四商店会合同パトロール(予定)
- 17(水) 戒橋交番前

◆キャッチセールスの増加

昨年の秋から年末まで警察の取り締りも強化され、キャッチセールスなどの客引きは減少していましたが、最近増え始め、元に戻っています。ガールズバーの呼び込みだけでなく、風俗店からの強引な客引きなども報告され、悪質化しています。今後は、警察による取り締りもお願いし、警備を強化することを検討します。

◆搬入車両の問題

納品などの搬入車両の許可時間は午前8時から10時までとなっていますが、10時を超えて強引に乗り入れてくる車両があります。さらには空ぶかしで歩行者を威嚇するようなどもあり、注意しても聞き入れないとのこと。松竹座の前などは年配の方も多く、大変危険です。このような車両を見かけられた場合は「運送会社」「ナンバープレート」「納品先」など分かることを事務局までお知らせください。

◆従業員の自転車通勤の駐輪について

終電以降の勤務がある場合、自転車通勤をされる方が多くなります。駐輪場などを補助しているお店も多いかと思いますが、駐輪場が遠いから店の近くの路上に置いておくこともあります。路上に駐輪場を持つビルでは、利用できるのが営業時間内の場合が多いですが、活用しましょう。店長会に参加するお店から率先して路上駐輪をなくしていきましょう。

◆違法駐輪について

何度注意しても違法駐輪がなくならない、放置自転車は大府建設局による撤去を待つしかないのが現状です。警察に言っても私有地内であると、対応できないため、非常に難しい問題です。何十台と止まってしまうからでは「みんなも止めよう」という心理になってしまつので、最初の一歩を止めさせないのが重要です。



▲駐輪禁止の表示の上止められた自転車

◆看板の規制について

道路上に出している看板は、建物との境界から80センチ以内に納めることという、商店会の自主ルールがあります。守られていないお店が多くなります。見回りなどで注意しても一週間も持たずに元に戻ってしまう状況です。自分たちで決めていくルールが守られないようでは市や警察に何かを相談するにしても信頼が得られず、交渉が難しくなります。3月中旬に店長有志のグループでは、み出し看板のバトルをする事となりました。より多くの参加をお願いします。

◆夜のゴミについて

道の真ん中にゴミを出しているお店がありますが、道はお客様が通る場所です。ゴミがゴミを呼ぶ場合もあり、夜のゴミ出しは、店の前にまとめて置くようお願いしています。

◆ゴミ箱について

商店街でもゴミ箱を2カ所設置しています。それでは足りません。テイクアウトサービスのあるお店は、自店前に必ずゴミ箱を設置して、他店のゴミがあってもそこへ捨てられるように、ゴミ処理に協力いただきたいと思います。

すくく実践できる具体的な対策から、長期的に取り組んでいかなければならない問題など、様々な意見提案がありました。今回の議論を経て、3月中旬に店長有志によるみ出し看板のバトルを実施し、その結果も踏まえ、4月中旬に第3回店長会を実施する予定です。気取らない活気のある雰囲気は道頓堀の魅力。現場の力を合わせて、安全安心な街でいられるように、ご参加協力をお願いします。

道頓堀をより安全で楽しい街にするため、オーナーや役員だけでなく、実際に店を運営している現場の人々の横のつながりを深め、意見を交換する集まりです。主な意見を要約して紹介します。



▲2月21日開催された第二回目の店長会には、25名の参加があり、活発な意見が交換されました。(「くれおー」法善寺前本通り店にて)

2017年2月21日(火) 第二回店長会が開かれました



▲店長会担当役員の連藤副会長(左から2番目)を中心に討論が進められました。

▲上山副会長「インバウンドなどで来訪者が増えている中、現場からとんとん声を上げて街を盛り上げて欲しい」

時の人・インタビュー

大阪でやれる喜びとプライドを。音楽が街の風景になる。

「大学で少林寺拳法部に入ろうと思ったら、その手前にあった部屋が軽音楽部で『クラリネットが抜けたから今ならレギュラーだよ』と誘われて半世紀」と笑う。

クラリネットプレイヤー、プロデューサーとして様々な目線から街と関わる、吉川裕之さんにお話を伺いました。(聞き手：中田真弥子)



プロフィール

吉川 裕之 (よしかわ・ひろのぶ)

1970年(昭和45)、京都外国語大学卒業後、ジャズクラリネットプレイヤーとして音楽人生をスタート。渡米しニューオーリンズ、カリフォルニアで演奏活動を行う。73年帰国「South Side Jazz Band」をカルテットで結成。77年にはセプテット(7人組)でディキシランドジャズを中心に演奏活動を始める。NHK「朝のテレビ小説」出演や、「浪速の源蔵事件帖」のテーマ曲や劇中音楽の演奏担当。フランス、中国、アメリカでの音楽祭にも出演。プロデューサーとして、ミナミジャズフェスティバル、道頓堀ジャズポールの運営などを手掛けている。



「すでに道頓堀に響くジャズの音は馴染み深いものになっていますね。これらの活動はどのように進めようか。」

「ジャズを始められたきっかけは何だったのでしょうか。」

元々音楽は好きでしたが、大学で初めてクラリネットをやりだしたんです。ベニー・グッドマンやレイ・アームストロングも好きでしたし、トリオ・ロス・パッチョミみたいなフュンもやってみたくて。音楽がたくさん入ってきっていた時期でしたから。

大学を出てから3年半ほど、アメリカのカリフォルニアで活動していました。父親が亡くなったのをきっかけに帰国し、広告代理店に勤めていたのですが、やっぱり音楽をやりたいと辞めてバンドを結成しました。

梅田にビザのシェーキーズができて、そのハコパンと呼ばれるレギュラー出演のバンドに。さらに当時は大型スーパーが次々と開店していて、オープンングセレモニーで「聖者の行進」を演奏したりして。仕事に恵まれていて、忙しかったですね。

「道頓堀の歴史とジャズには深い関わりがあるか。」

1923年(大正12)の関東大震災の後、関東から大阪にジャズを志す人たちが

集まり、中戎橋の北詰今のH&Mの場所にあった「カフェバウスタ」が人気でした。井田二郎が「フライングスター! ジャズバンド」を結成し、ダンスホールがいくつもできて、非常に盛り上がりつつあります。ところが、大正天皇が崩御した時に音楽やダンスが禁止になったんですね。ただ、大阪の人はあまり気にせず踊っていたらしく、府の条例でダンスホールが規制され、取り締まりが厳しくなりました。一年後の昭和二年にはダンスホールが全て閉鎖に追い込まれてしまつて大阪のジャズがそこではと途切れてしまったんです。場を失ったミュージシャンたちは神戸へ、さらに東京へ、レコード会社が専属オーケストラやバンドを持つようになって、そちらに活躍の場を移していったのです。



▲ 昨年のリバーフェスティバル・川面舞台での演奏。

「吉川さんが考える「大阪らしさ」とは。」

バンドは個人の技術はもうらんでますが、バンドリーダーが目指すバンドサウンドが大事。バンドならではの「コネ」があるんです。東京に比べると大阪は指げけない(笑)。「ここいリズムが重い」と言われます。それが「ミュージック大阪」と言えるのだと思います。憂歌団にしても、木村充揮のボーカルありきなんだけど、それだけでは憂歌団の音楽にはならない。90年代、ヘヴィメタルの時もありましたが、東京にいても大阪のバンドは変わらな。なんか、服にジャラジャラしたのを

「ジャズポータルもそんな想いの中で生まれたのでしょうか。」

いっぱいつけてね(笑)。

大阪のミュージシャンが、大阪で音楽ができる喜びとかプライドがあつて、街の音楽を作り上げていく。東京から新幹線乗って来たら、全然違う音楽やってるやんか、そんな感じは面白いな。



「大阪にだけいたい。」

出て行くのは全然いい。でも帰ってこられる場所がないと駄目だと思う。みんなやれる喜びと誇りを共有する。それがミュージック大阪だと思います。

「吉川裕之プロデューサー公演「エディットピア物語」上演。詳細は4面です。」

道頓堀街づくり情報 「なんばひろば改造計画」の社会実験結果報告

昨年11月11日から13日まで、なんば駅前を魅力的な場所にするため、交通規制を行った上で、広場として様々な形で活用する社会実験が行われました。

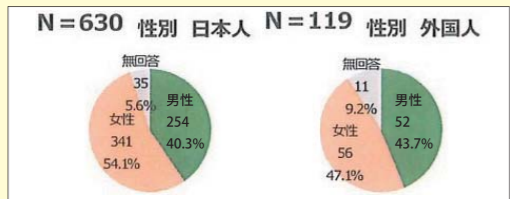
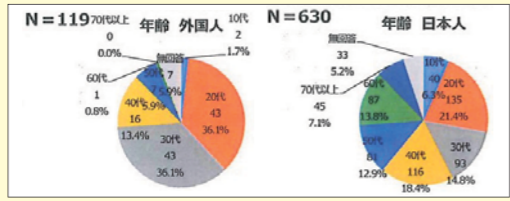


▲ 社会実験中の様子 ▲ 実験前のなんば駅前

広場部分への入場者数は
11日 マーケット的な利用 2.1万人
12日 ライブシネマによる利用 3.5万人
13日 PRイベントによる利用 3.1万人
合計 8.7万人
となりました。



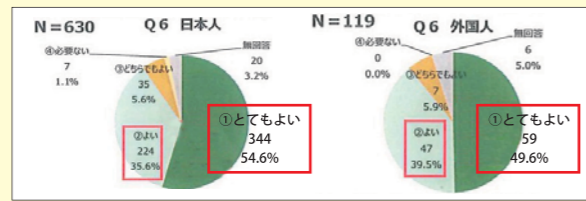
▲ 観光客



◆ 来場者の年齢と性別
外国人の方は旅行者が多いことから、20代、30代の回答が多く、日本人・外国人とも女性が多い結果となりました。



▲ カフェスペース



▲ 良かったプログラムを教えてください。



◆ 来場者の反応
「とてもよい」「よい」を合わせると9割以上となり、好評をえたようです。
日本人、外国人とも休憩のカフェスペースが好評でした。

◆ 今後の方向
近隣の方へのアンケートでは70%の人がなんば駅の広場化計画を支持している一方、当日搬入には混乱が生じたという声も若干ありました。交通整備を含めて、訪れる人にも働く人にも心地よい空間を目指しているなんば駅前、これからの動きから目が離せません。



▲ 意外なスポットが見つかるかも? 外国人の方のご利用が多いのですが、日本人も利用いただいた方には好評でした。

